広報にいつ
発行所 新津市役所 電話 代表550番
発行人 篠田繁雄
印刷所 東洋館印刷所
毎月一回5日発行
(定価一部2円)

人口動態 (9月1日現在)

世帯数	7,274		
人口	38,883		
(8月中)			
出生	60	死亡	22
転入	152	転出	151
婚姻	12	離婚	1

各市村個々で

無条件吸収合併を

市町村合併調査特別委報告

市議会では、去る五月二十九日の定例会で市町村合併調査特別委員会を設置、数回にわたり鋭意に調査を行っていたが、このほど調査の結果をまとめ、九月二十四日の定例会で翔池委員長より次の通り報告がなされた。

「郡の町村合併促進委員会では、新津市と小須戸町、小合村、金津村、新関村とは対等合併すべきであると県へ答申しているが、市としては、町村合併は国策であり受入態勢は整えておくべきであるが、対等合併は承認出来かねるし条件等も絶対承認出来ない。つまり"無条件で吸収合併するならば、最も熱意のある町村から徐々に合併を受入れることが適当であり、なお合併の時期は当該強律の有効期間中、つまり昭和三十一年九月三十日まで)"ということに委員会としては意見の一致を見た」

これにつき、種々質疑応答があったのち、調査委員会としては一応調査完了に伴い、本委員会を解消し、第二段階として議会の意思が合併促進へ進むならば、別に新たな委員会を組織して促進して欲しいとの意見の開陳あり、これに対して種々意見が交されたが、当日は結論を出さずに次回持越しとなった。

佛舎利塔建立鍬入式

小室塔11月3日完成

秋葉山仏舎利塔建立計画は着々と進捗し、小室地で盛大に鍬入式を挙行、塔は来る十一月三日完成を目標に建立することになり、九月十五日の吉日をトして秋葉山頂の予定地で盛大に鍬入式を挙行した。当日は仏舎利塔建立奉賛会長岡田知孝の代理として同副会長石井鼎総務部長をはじめ篠田市長、石川市会議長、山本地方事務所長、桂県会議員、各市会議員、地元各団体長、婦人会員、還族会員等無慮数百名の臨席あって無事終了した。なお鍬入式終了後婦人会員の手によって初の勤労奉仕作業が実施された。

会が営まれ、ついで会長その他によって鍬入が行われ、会長、来賓の挨拶あった後一般の礼拝あって無事終了した。なお鍬入式終了後婦人会員の手によって初の勤労奉仕作業が実施された。

十数名の僧侶によって法

鍬入式は秋葉山頂で盛大に挙行され終ってこの日婦人会員による初の勤労奉仕が行われた

約二米掘下げる擁壁基礎工事

山谷側擁壁と下道など

跨線橋二十九年度工事始る

山谷地内跨線橋工事は二十八年度工事に引続き本年度工事を九月三日着工、三十年一月三十日竣功の予定で青田組請負で実施中である。

工事は上山谷側鉄筋コンクリート擁壁延長一〇六米余と下道片側二四〇米の左右両側分であり、榮町側は桶樋一経間延長八米である。なお交通関係は片側一方交通(小合村方面に向うもの)として車両の誘和を計っている。

サイロに青草を十分に踏みこみ重石をおく

糞尿のなやみ解消

利用者中心の肥料衛生組合活動

最近農家では化学肥料の普及から人糞肥料を敬遠する傾きをみせており、それにつれて市内各家庭では糞尿の処理になやまされるもの続出で市衛生上からも問題視されていたが、このほど「新津市公益肥料衛生組合」(通称)が発足、糞尿汲取業務を開始さくら方の不満解消に乗り出した。

同組合は現在ヤート三輪(タンク付)一台にリヤーカー、ドラムカン、汲取人を動員一斗十円で新津駅ほか約五百戸の汲取を行っているが、各家庭の糞尿処理、都市衛生施設の整備とともに農家経済と化学肥料が必ずしも好結果を及ぼしておらず自給肥料(人糞)や堆肥によって地力の増進をはからねばならないので、市民にも農家に指し、その経営もいわゆる資本家的経営でなく利用者を中心とした利用者による出資百万円の組合組織にすべく努めている。

汲取られた糞尿は市内農家に持ちこまれ、便は十円、尿は殆んど無料で配付されているが輸送費にくわれるため市農家の利用により部落毎に溜桶の設備をすることが考えられ、このために部落農家組合との密着が図られている。それによって中間経費が節減されるとともに肥料代の増加とともに料金、価格も引下げられるので市民と農家の理解と協力が望まれている。

サイロは家畜飼育上大切なもので、現在市内農家に百余あるが市の助成を得て年々増加しつつある。これに青刈作物、生草、レンゲ草に甘藷蔓を詰めこみ、発気の入らぬよう踏みかためて乳酸菌醗酵を促し長期のエンシレージを作るわけだがこれで家畜は一足お先に冬仕度を終ることになる

一斗十円で糞尿にナヤム奥さん方の不満も解消 衛生組市へ

お先に冬仕度

東蒲鶴料田いに大賑

冬でも家畜に新鮮で栄養のある青草を与えようと農家では貯蔵場のサイロ(コンクリート製円筒)作りに冬から馬力をかけている。

北上火の見ヤグラ附近までがコンクリートになる

善道—北上道路舗装

市内大字善道から北上地内火の見櫓附近までの道路改良コンクリート舗装工事は二十九年度工事として八月二十四日着工延長一、二〇〇米舗装市負六米で十一月六日竣功予定で実施中である。